



# ECO-TOP プログラム

## 自然環境保全のための人材育成・認証制度

東京都・大学・企業・NPO 等が連携し

自然環境分野で活躍する人材を社会に送り出すための人材育成プログラム



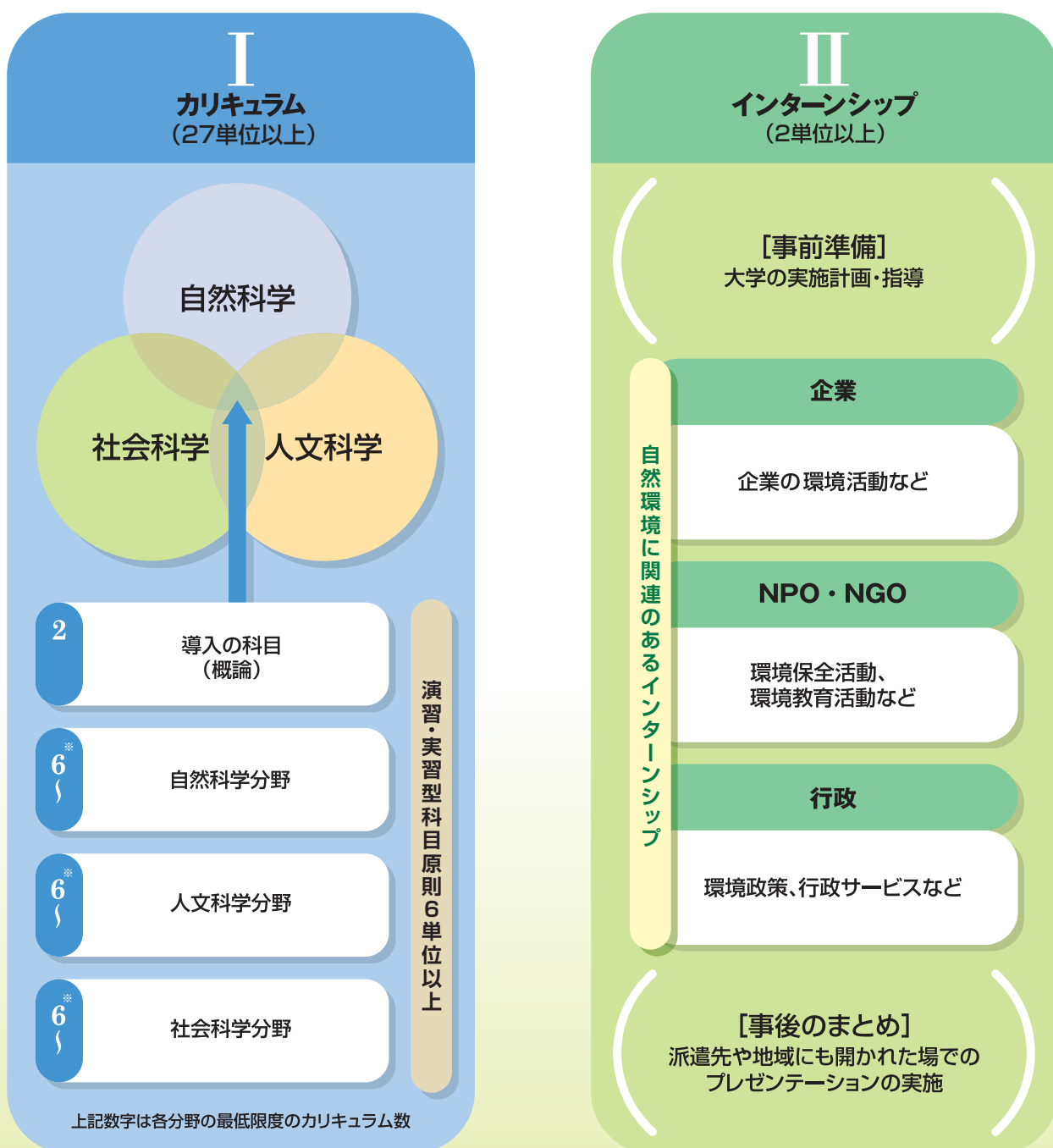


大学や大学院が自然環境保全のための教育課程を設け、東京都が「ECO-TOPプログラム」として認定します。

ECO-TOPプログラムの履修生は、授業で自然環境分野の幅広い知識を得ることができ、インターンシップにより企業、NPO、行政の実社会における自然環境に関連のある職場体験をします。

また、プログラムの修了生には、自然環境に関する最新の知識・情報を得る機会を提供するなど、継続的な支援を行っていきます。

## 〈プログラムの構成〉



\*各分野で原則6単位以上設定することとしているが、1つの分野につき6単位以上設定できない場合は、総合的に判断する。

\*詳細はECO-TOPプログラムの認定審査基準を参照 <https://eco-top.metro.tokyo.lg.jp/download/>

# ECO-TOP

プログラム申請から認定まで

~8月頃

1月頃

申請の意向を東京都へ連絡

申請書の提出

認定検討会

認定決定通知

申請内容  
(概要)

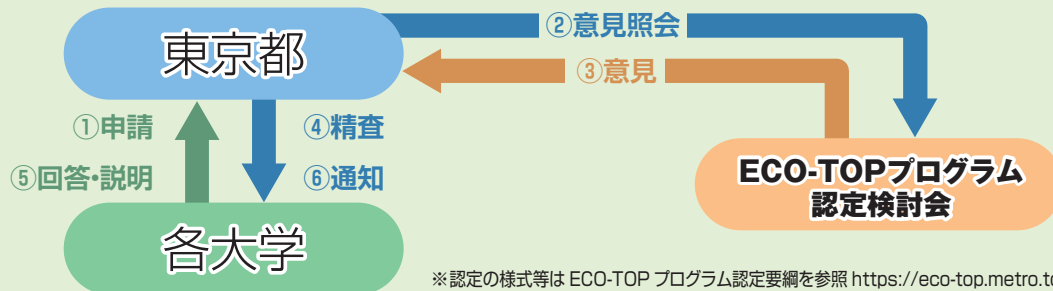
申請する学部(学科)の概要  
カリキュラムの科目のシラバス  
教育点検・改善方法のシステム

認定を受けるカリキュラム内容  
インターンシップの計画  
責任者及び教員体制

カリキュラムの担当教員  
人材育成の理念

## ECO-TOPプログラム 認定の手続

東京都が制定した「ECO-TOPプログラム」認定要綱及び認定審査基準に基づき、大学から申請されたプログラム内容について、認定検討会に意見を聴取し、ECO-TOPプログラムとしてふさわしいかを精査した後、手続を経て東京都知事が認定します。



※認定の様式等は ECO-TOP プログラム認定要綱を参照 <https://eco-top.metro.tokyo.lg.jp/download/>

## ECO-TOPプログラムはSDGs達成に寄与する人材育成制度です

東京都は、ECO-TOPプログラムが、自然環境分野に関連する様々な社会的課題の解決につながることを期待しています。下記には、SDGsの中でも特に自然環境分野と関わりの強いものを事例として挙げています。

森林浴など心や体の健康と自然との関わりを考えます

森林や都市環境と  
海の生態系との  
関わりを考えます



都民の飲み水を  
支える水源林の  
保全を考えます

自然の持つ  
減災機能など  
気候変動との  
関わりを考えます



再生可能エネルギー  
の利用と自然環境の  
保全を考えます

自然の恵みの  
持続可能な利用と  
保全を考えます



働く人にうれしい  
安らぎを与える  
緑の価値を考えます

自然と共に生きる都市づくりを考えます



ECO-TOPプログラムでは、企業・NPO・行政における自然環境に関連のあるインターンシップを義務づけています。

インターンシップにおいては、「自然環境分野の課題解決や自然を活用した社会的課題解決に資する実社会の経験」が盛り込まれていることを推奨しています。

## インターンシップで都が推奨する業務体験の想定事例

### ①自然環境のフィールドワークに行く業務体験の想定事例

里山で保全活動を行っている行政やNPOで、四季を通じた活動に主体的に参加し、里山の維持管理ノウハウや市民活動の重要性について学ぶ。

事業者から受託して環境影響評価の調査を行うコンサルタントの調査現場や外来種駆除を行う事業者の作業現場に同行し、環境に配慮した開発のあり方を考える。

### ②自然環境のフィールドワークに行かない業務体験の想定事例

持続可能な原材料調達や環境配慮商品に関する国際認証ラベルを推奨する団体や自然環境問題について政策提言を行うNGOやNPOなどにおいて、国際的な最新情報に触れながら将来の社会のあり方を考える。

薬剤など自然資源を原料として活用する企業や自然の機能を防災・減災に活用（Eco-DDR）する行政等において、自然を活用した社会的課題の解決策（Nature-based Solutions）について考える。

5月

インターンシップ  
派遣予定者の決定

7月

インターンシップ実施

～9月頃

11～12月

インターンシップ  
合同報告会

# 企業インターンシップ

## 実績例 株式会社ポリテック・エイディディ

- 実習生：1名
- 実習期間：令和3年8月23日(月)～27日(金)
- 実習目的及び概要：

アニマルパスウェイ  
(写真上側)  
観察の様子



都内の商業施設や業務施設等に併設された都市緑地の役割や効果について、環境認証制度の評価方法等を参考に、現地調査を実施し評価を行う。道路等の土木構造物による環境影響と生態系保全対策について学ぶ。以上を通じて環境コンサルタントの実務を体感する。

日程	実習内容	場所
8月23日(月)	オリエンテーション、講義（環境アセスメント、都市緑地に係る環境認証制度）	オフィス
8月24日(火)	都市緑地に係る既存資料調査、都市緑地の現地調査	都内
8月25日(水)	都市緑地の現地調査	都内
8月26日(木)	都市緑地の現地調査結果及び評価まとめ、講義（生態系保全対策の考え方と事例）	オフィス
8月27日(金)	生態系保全対策事例の視察（アニマルパスウェイ）	山梨県北杜市

### 令和3年度の主なインターンシップ受入企業 ※五十音順

足立区生物園、株式会社自然教育研究センター、湘南電力株式会社、体験型有機農業パークマネジメント、株式会社タマガワイサポート、株式会社千代田コンサルタント、株式会社ドーコン、合同会社パンゲア（パンゲアフィールド）、株式会社ブラック研究所、株式会社ポリテック・エイディディ、有限会社増山商店、八千代エンジニアリング株式会社、RAUL株式会社、株式会社LIXIL、YKK AP株式会社

# NPO等インターンシップ

## 実績例 公益財団法人 日本環境協会

- 実習生：1名 (子どもエコクラブの活動 [イメージ])
- 実習期間：令和3年1月27日(水)～3月12日(金)の期間中の6日間
- 実習目的及び概要：



(子どもたちが作成した壁新聞)

子どもを対象とした環境教育活動の具体的な手法や優良事例について学ぶことを目的とする。当該年度は、全国の子どもたちの環境活動・環境学習を支援する事業「子どもエコクラブ」の全国事務局に入り、クラブの活動をまとめた壁新聞の作品受付・整理、選考委員会の運営補助など、年1回実施する「全国エコ活コンクール」に関する業務を行った。

日程	実習内容	場所
1月27日(水)	日本環境協会及び子どもエコクラブの事業説明、壁新聞選考方法打ち合わせ	事務所
1月29日(金)	壁新聞作品の写真撮影	
2月 3日(水)	壁新聞作品の写真撮影、受付データの入力	
2月12日(金)	壁新聞作品の写真撮影、受付データの入力	
2月17日(水)	コンクール選考委員会の運営補助(作品の掲示、集計結果のチェック等)	選考委員会会場
3月12日(金)	受賞作品と環境副大臣との写真撮影	環境省副大臣室

### 令和3年度の主なインターンシップ受入NPO ※五十音順

公益財団法人かながわ海岸美化財団、特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所、グリーン購入ネットワーク(GPN)、NPO法人国際自然大学校、認定NPO法人生態工房、公益財団法人日本環境協会、特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池、一般社団法人まちやま、NPO法人みどり環境ネットワーク！

# 行政インターンシップ

## 実績例 東京都環境局自然環境部



高尾の森自然学校での実習の様子



最終日の発表の様子

■ 実習生：10名

■ 実習期間：令和3年8月5日(火)から8月20日(金)までの期間中の5日間

■ 実習目的及び概要：

自然環境保全に関わる業務及び現地視察を通して、行政の自然環境保全に対する理念、手法及び方針などを学ぶ。また、まとめとして自然環境行政についての提案を行う。

日 程	実 習 内 容	場 所
8月5日(木)	オリエンテーション、東京都環境局自然環境部の事業説明、生物多様性に関する説明	東京都庁
8月6日(金)	課題解決策の議論	テレワーク
8月13日(金)	高尾の森自然学校の取組について（講義） 高尾の森自然学校の施設紹介 課題解決策の議論	高尾の森自然学校
8月19日(木)	課題解決策の議論	テレワーク
8月20日(金)	東京都環境審議会の聴講 課題解決策の発表、意見交換	東京都庁

令和3年度のインターンシップ受入行政 ※五十音順

エコパークさがみはら（相模原市立環境情報センター）、座間市、東京都環境局自然環境部

## インターンシップ合同報告会

例年秋ごろ、ECO-TOPプログラムでは認定大学の合同行事として、インターンシップ合同報告会を開催しています。合同報告会には、認定大学の学生や教員、インターンシップの受入先となった企業・NPO等、行政の方々、また、社会で活躍しているECO-TOPプログラム修了生も参加し、プログラムにおいての一大イベントになっています。

合同報告会では、インターンシップを経験した学生によるポスター発表が行われ、参加者同士による活発な意見交換が行われます。また、報告会後の交流会は、大学や関係機関の枠を超えたつながりを作る機会となっています。

令和3年度はマスク着用や会場を2つに分けるなど、新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、2年ぶりに開催しました。



# プログラム履修のメリット

## ○緑のボランティア指導者育成講座の受講料減額

東京都環境局では、自然観察や緑地保全活動などのボランティア活動の指導者を目指す方のために、基礎技術や指導法等が学べる講座を開設しています。募集人数には限りがありますが、ECO-TOP修了生には別途募集枠を設けており、受講料の減額もあります。



## ○環境カウンセラーの登録要件緩和

環境カウンセラー制度は、市民や事業者が行う環境保全活動に対して、豊富な知識と経験を活用して助言を行うことができる人材を環境省が登録する制度です。市民団体や学校の相談に対応する「市民部門」は、通常登録申請のためには4年間以上の環境保全活動に関する実績が必要ですが、ECO-TOP修了者は実績年数が1年とカウントされ、実績年数が短縮されます。

## ECO-TOPプログラムを履修した先輩方の声

ECO-TOPプログラム履修生（2023年卒業予定）

**板倉 碧海 様**



私は、大学で学んできたことを外部で活かせる貴重な機会だと考え、ECO-TOPプログラムを履修しました。インターンシップは、企業・行政・NPOの3分野に参加し、企業では、社内におけるSDGsへの取組や製品から地球環境への貢献、行政では時代の変化に応じた都民の生活スタイルの考察、NPOではSNSを活用した情報発信や地域コミュニティを利用した清掃活動など、各分野ならではの特色を持った活動に参加しました。

プログラム履修を通しての学びだけでなく、プログラムを通して多くの人と出会い繋がれたことが何より嬉しかったです。自分と同じ目的意識を持つ社会人の方や他大学の人々と関わることで、新しい価値観や気づきを得ることができました。今でも、NPOの方とは連絡を取り合い、清掃活動等に参加したりしています。

この経験を通して得た学びや人との縁を今後も大事にしながら、社会に出てからも積極的に物事に挑戦し続けたいと思います。

ECO-TOPプログラム修了生（家電小売業就職）

**小菅 悠莉 様**



ECO-TOPプログラムでの学習を通じて、企業や行政の環境に配慮した取組が消費者や市民に十分に浸透していないと感じました。これらの取組の必要性が消費者や市民にしっかり伝わることが、環境に配慮した生活への変容につながっていくと考えます。

現在、私は生活に一番身近である家電製品を取り扱う企業で、環境に配慮した製品の販売と、使わなくなった家電製品の改修案内業務を行っています。業務を行っていく中でも、古くなった家電製品の処分方法について、行政が設けている制度が十分に知られていないことを改めて実感しています。信頼できる機関でのリサイクル回収を推進し、限りある資源を有効活用するため、プログラムの履修等を通じて得た知識をしっかりと生かしていきたいと考えています。

## ECO-TOPプログラムが目指す人材像 (Ecological Conservation Training of Personnel Program)

### “自然環境に軸足を置いたジェネラリスト”

- 1 自然環境保全に向けて様々な主体と協働できる能力がある人
- 2 一地域の現場から、次世代を見据え、グローバルな視野に立って自然環境を考えることができる人
- 3 論理的思考力と説明・コミュニケーション能力がある人
- 4 決定能力とリーダーシップがある人
- 5 現場感覚を持ち、アクティブに行動できる人

#### 認定大学

- 東京都立大学 (都市環境学部 観光科学科)
- 玉川大学 (農学部 環境農学科)
- 桜美林大学 (リベラルアーツ学群 環境学プログラム)
- 武蔵野大学 (工学部 環境システム学科)
- 東京薬科大学 (生命科学部 応用生命科学科)

## ECO-TOP インターンシップのご案内

東京都ではECO-TOPプログラムの趣旨に御賛同いただき、ECO-TOPプログラムのインターンシップを受け入れていただく、企業、NPO・NGO、行政機関を募集しています！  
連絡先 [eco-top@kankyo.metro.tokyo.jp](mailto:eco-top@kankyo.metro.tokyo.jp)

ECO-TOPプログラム ホームページ

<https://eco-top.metro.tokyo.lg.jp/>



### ECO-TOP プログラムに関するお問合せ先

東京都環境局自然環境部計画課 (計画担当)  
TEL 03-5388-3539 FAX 03-5388-1379  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第二本庁舎19階

